

道徳科学習指導案

- 1 **日時** 令和元年10月11日(金) 第2校時(9:50~10:35)
- 2 **学年** 第3学年 12名(男子10名, 女子2名 合計12名)
- 3 **主題名** 「正しいと思うことを行う」(内容項目A(1) 善悪の判断, 自律, 自由と責任)
- 4 **ねらい** 友達との関係と自分が正しいと思うこととの間で葛藤し, どうしたらいいか悩んでいるきよしへのアドバイスを考えることを通して, 自分が正しいと判断したことを行うことや正しくないと考えられることをしている人を止めることの難しさや大切さ, そのよさに気づき, 正しいと判断したことは自信をもって行おうとする道徳的実践意欲と態度を育てる。
- 5 **資料名** 「きよしのなやみ」 出典(小学生のどうとく3: 慶済堂あかつき)

6 主題設定の理由

- 本主題は, 内容項目A(1)「正しいと判断したことは, 自信をもって行うこと。」を基に設定したものである。

よいこと, 正しいことについて, 人に左右されることなく, 自ら正しいと信じるところに従って, 誠実かつ謙虚に行動することは, 人として重要なことである。特に, 多様な価値観が存在し, 様々な判断が求められる現代社会の中では, よいことと悪いこととの区別が的確にできるようにならなければならない。正しいことを行えないときの後ろめたさや, 自ら信じることに従って正しいことを行ったときの充実した気持ちを考え, 正しいと判断したことは自信をもって行い, 正しくないと判断したことは行わない, 正しくないと考えられることをしている人を止めることができる意欲と態度を育てていくことが重要である。

中学年の段階においては, 児童は様々な学習や生活を通して, 正しいことや正しくないことについての判断が高まってくる。しかし, 正しいことと知りつつもそのことをなかなか実行できなかつたり, 悪いことと知りながらも周囲に流されたりといった自分の弱さに負けてしまうこともある。そこで, 自分の弱面に気づき, 自分が正しいと判断したことを行うことや正しくないと考えられることをしている人を止めることの難しさや大切さ, そのよさを知り, 自信をもって正しいと思ったことを行おうとする意欲と態度を育てることをねらいとして, 本主題を設定した。

- 本学級の児童は, 正しいと判断したことは進んで行動することが大切であると知っている。日常場面でも間違っていることをしている友達に注意したり教えたりする姿もみられる。しかし, 時として, 友達が間違ったことをしているにもかかわらず注意できなかったり, 見逃してしまったりする姿も見られる。また, 間違っていると思っても自分もその友達と同じことをしてしまう姿もみられる。事前に行った意識調査の結果は次の通りである。(実施12名 7月19日)

質問項目	肯定的回答		否定的回答	
	◎当てはまる	○やや当てはまる	△あまり当てはまらない	×当てはまらない
①自分が「正しいと思ったこと」を自信をもって行うことができますか。	42% (5人)	33% (4人)	8% (1人)	17% (2人)
【理由】	<ul style="list-style-type: none"> ・いけないことは注意できるから。 ・いけないことをしていたら注意をしないといけないから。(5人) ・自分は正しいことができるから。 ・いけないことをしてほしくないから。 ・上の学年に注意したら怒られそうだけれど下の学年にはできるから。 		<ul style="list-style-type: none"> ・間違っていたらどうしたらいいかわからないから。 ・言ったら恐そうだから。 ・自信がないから。 	
②自分が「正しいと思ったこと」を自信をもって行ったことがありますか。	83% (10人)		17% (2人)	
【ある】 それはどんなことですか。	<ul style="list-style-type: none"> ・ルールを守っていない人がいて注意した。(2人) ・階段や廊下, 部屋の中を走っている人がいて注意した。(6人) ・けんかをしていて注意をしたりとめたりした。(2人) 			

【ない】それは、なぜですか。	<ul style="list-style-type: none"> ・正しいかどうか自信がないときがあるから。 ・言おうとしても言えなかったから。 			
③「正しいと思ったこと」を自信をもって行うことは大切だと思いますか。	100% (12人)	0% (0人)	0% (0人)	0% (0人)
【理由】	<ul style="list-style-type: none"> ・ルールとかを守らないと自分勝手になるから。 ・怪我をしたり危険なことにつながったりするから。(4人) ・いけないことが続くから(3人) ・次にしないようにするため。 ・やめなかったら困るから。 ・ずっとルールを守れない人になるかもしれないから。 ・自分が正しいと思ったことをして間違っていたら教えてもらえるから。 			

このことから、ルールなどが守れていない友達には注意ができる児童が多い一方で、相手との関係や自分の判断に自信がなくて自分が「正しいと思ったこと」を行うことができない児童もいる。そこで、人は正しいことをしなければならぬことを分かっているにもかかわらず周りの環境や条件などが影響し、正しいと思うことができずに思い悩む弱さをもっていることに気付かせ、自分が正しいと判断したことを行うことのよさや大切さについて考えさせたい。

- 本教材は、友達のさくおから宿題の詩をインターネットから盗用したことを聞かされたきよしが、その詩が市のコンクールに出されることを知り、友達との関係と自分が正しいと思うこととの間で葛藤し、どうしたらいいか一人で悩むという内容である。このような状況は、普段児童たちが生活している中で起こりうることであり、児童は身近な問題として捉えることができる教材であり、次のように指導する。

導入では、友達の物を黙ってポケットに隠す場面絵を提示し、学習の見通しをもたせる。

展開では、まず、資料の場面絵や短冊等を提示しながら場面や登場人物の関係を捉えさせる。そして、さくおから詩の盗用を聞いた時のきよしの気持ちや詩が市のコンクールに出されると聞いた時にきよしの胸がどきどきした理由を考えさせ、正しくないことをしている友達が置かれた状況や正しくないことを知っていてそれを放置しているきよしの状況を捉えさせる。その後、だれもいない教室できよしが悩んでいる理由を考えさせることで、友達との関係と自分が正しいと思うこととの間で葛藤するきよしの心情に共感させ、人間の弱さについて気付かせる。

中心発問では、どうしたらいいか悩んでいるきよしへのアドバイスやその理由を考えさせ、正しいと判断したことを行うことの大切さやそのよさに気付かせていく。切り返しの補助発問や多面的・多角的に考え方考えさせる補助発問などを複数準備し、児童の反応に応じて投げかけることで、対話を通して児童の思考や認識を深めていく。また、事前アンケートを提示し、自分が「正しいと思うことをすることは、難しいが、なぜ大切なのか。」という価値そのものについて考えることを通して、自分事として道徳的価値についての自覚を深めさせる。

振り返りでは、学習を通して新たに気付いたことや友達の意見を聞いて気付いたことなどを書かせ学びを深めさせていく。

7 大会主題【ふるさとに夢や誇りをもって、未来の創り手となる子どもの育成～へき地・複式・小規模校の特性を生かした学校・学級経営と学習指導の深化・充実をめざして～】との関連

少人数で発表できる場面が多いことを生かし、児童一人一人が自分の思いや考えを表現する場を十分に確保する。こうして、自分事として考えたり自分と友達の考えを比べながら聞いたりする機会を充実させ、協同的に学びを深める学習を重ねることで、自らの生き方を考え、未来を切り拓く児童の育成を目指していく。

8 研究主題【主体的・対話的に学びを深める児童生徒の育成～道徳科における児童の思考を促す発問の工夫を通して～】との関連

中心発問	補助発問	
きよしくんに、どんなアドバイスをしますか。それは、どうしてですか。	<ul style="list-style-type: none"> ○ でも、さくおくんはこわいですよ。それでもそうするのですか。 ○ きよしくんがしたわけではないから、何もしなくてもいいのではないですか。 	<ul style="list-style-type: none"> 【切り返す】 【多面的・多角的に考えさせる】

9 準備物

資料場面絵, ワークシート

10 学習展開

	学習活動	主な発問と児童の心の動き (主な発問(○) 中心発問(◎) 予想される児童の反応(・))	指導上の留意事項と評価 (留意事項(◇)評価(・)(評価方法))
導入	1 日常生活を想起し、本時の学習の見通しをもつ。	○ これ(場面絵: 友達の物を黙ってポケットに入れる)を見てどう思いますか。 ○ 今日は、自分が「正しいと思うこと」をすることについて考えていきましょう。	◇ 学習の見通しをもたせる。
展開	2 教材を読んで話し合う。 ① きよしがさくおから詩の盗用を聞いた時の気持ちやその詩を市のコンクールに出すと聞いた時にむねがどきどきしたわけを考える。	○ さくおくんからインターネットで見つけた詩を写したことを聞いた時のきよしくんのもやした気持ちとはどんな気持ちでしょう。 ・人の詩を写したらいけないのに。 ・ぼくは、どうしたらいいのだろう。 ○ 詩を市のコンクールに出すと聞いて、きよしくんは、なぜむねがどきどきしたのでしょうか。 ・さくおくんの詩がコンクールに出たら、人の詩だとばれるかもしれないから。 ・どうしたらいいのか分からないから。 ・悪いことをしているのを知っているから。	◇ 場面絵, 短冊等を使い、場面や人間関係の状況を押さえる。 ◇ 詩の盗用を知った時のきよしの心情や友達の置かれた状況を心配したり、正しくないことを放置している自分のことを思ったりしている状況を押さえる。 教材との対話
	② だれもない教室で、きよしが悩んでいるわけを考える。	○ きよしくんは、だれもない教室で、なぜ悩んでいるのでしょうか。 ・どうしたらいいか分からないから。 ・いけないことをしているから止めたいけど、さくおくんは「ぜっ交だ。」と言っているから。 ・いけないことをしているけど、さくおくんが怖くて止められないから。	◇ 友達との関係と自分が正しいと思うことの間で葛藤するきよしの心情に共感させ、人間の弱さについて気付かせる。 教材との対話
	③ なやんでいるきよしへのアドバイスを考える。	◎ きよしくんに、どんなアドバイスをしますか。それは、どうしてですか。 ・今ならまだ間に合うから、さくおくんともう一度話した方がいいよ。悪いことをしているさくおくんを止めた方がいいから。 ・人の詩を写すのはいけないから、先生に本当のことを言った方がいいよ。いけないことは止めないといけないから。 ・もし入賞してばれたら大変なことになるから、さくおくんにも本当のことを言うように言った方がいいよ。ばれたらさくおくんがこまるから。	◇ ワークシートを活用し、自分の考えを明らかにさせる。 ◇ ペアトークの場を設定し、お互いに考えを伝え合い、理由を尋ね合うようにする。 子供同士の対話 ・自分が正しいと判断したことを行うことの難し

		<p>・いけないことだから、さくおくと一緒に本当のことを先生に言った方がいいよ。正しいことをした方がすっきりするから。</p> <p>【補】でも、さくおくんはこわいですよ。それでもそうするのですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・さくおくんは怖いけど、いけないことは止めないと自分の心がもやもやする。 ・怖いけど、いけないことをしているのを知っていて止めないと心がすっきりしない。 ・さくおくんは怖いけど、自分が正しいと思ったことをした方が、心がすっきりする。 <p>【補】きよしくんがしたわけではないから、何もしなくてもいいのではないですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分がしていなくても、友達が悪いことをしたのを知っていて何もしなかったら、悪いことをしたのと同じだから止める。 ・いけないことをしたことを知っているから、止めないと自分の心がもやもやする。 ・さくおくんが困るし、知っている自分もすっきりしない。 ・何もしないと、さくおくんも自分もすっきりしない。 	<p>さや大切さ、そのよさに気付いている。 (発言・ワークシート)</p> <p>【切り返す】 さくおとの人間関係を考えさせながら、難しい状況でも自分が正しいと判断したことを行うことの大切さやそのよさに気付かせる。</p> <p>【多面的・多角的に考えさせる】 さくおの行為が正しくないことを知っているきよしの責任について考えさせ、正しくないと考えられることをしている人を止めることの大切さやそのよさに気付かせる。</p>
	<p>3 「正しいと判断したことを行うこと」の大切さについて考える。</p> <p>○ 教師の体験談を聞く。</p>	<p>○ 自分が「正しいと思うこと」をするのは難しいけれど、なぜ大切なのでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・正しいことができないともやもやするから。 ・正しくないことは、止めないと、困る人がいるから。 ・正しいことをすると気持ちいいから。 ・正しいことをすると気持ちがすっきりするから。 ・正しいことをすると自分の自信になるから。 	<p>◇ 教師が自分が正しいと判断したことを行えた体験を話し、児童が自分事として考えやすくする。</p> <p>◇ 児童一人一人が、自分の思いや考えを表現し交流することで、正しいと思うことを行うことに対する考えを深めることができるようにする。</p> <p>◇ 児童から出た「子供語」を使ってまとめる。</p>
<p>振り返り</p>	<p>4 本時の学習を振り返る。</p>	<p>○ 今日、新たに学んだことや友達の見解を聞いて気付いたこと、思ったことを書きましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分が正しいと思うことをしたら、気持ちがすっきりすることが分かった。 ・友達がいけないことをしていたら止めたい。 ・笑顔で過ごせるように、自分が正しいと思うことをしていきたい。 	<p>◇ ワークシートを活用し、本時の道徳的価値について新たに発見したことなど自分の考えをまとめさせる。</p> <p>自己との対話</p>

13 教材分析

	子供の思考の流れ	主	対
導入 課題設定がある場合も (学習の構えを持つ)	・正しいと思うことをするのは、難しいときもあるな。	○	
教材を知る (登場人物の状況と心情の確認)	・きよしは、この後どうするのだろう。	○	
問題場面の確認：課題意識を持つ (課題の焦点化) ◎ きよしくんに、どんなアドバイスを しますか。それはどうしてですか。 [投]		○	
個としての考えをもつ (登場人物への自我関与) ※ワークシートへの記入	・今ならまだ間に合うから、さくおくんともう一度話をした方がいいよ。悪いことをしているさくおくんを止めた方がいいから。 ・人の詩を写すのはいけないから、先生に本当のことを言った方がいいよ。いけないことは止めないといけないから。 ・もし入賞してばれたら大変なことになるから、さくおくんに本当のことを言うように言った方がいいよ。ばれたらさくおくんがこまるから。 ・いけないことだから、さくおくんと一緒に本当のことを先生に言った方がいいよ。正しいことをした方がすっきりするから。	●	
他者の考えとの出会い (自分の考えとの共通点と相違点) ※意見の交流			●
よりよい生き方に向けた議論 (多面的・多角的視点の獲得) 【補】でも、さくおくんはこわいですよ。 それでもそうするのですか。 【補】きよしくんがしたわけではないから、話さなくてもいいのではないのですか。	・さくおくんは怖いけど、いけないことは止めないと自分の心がもやもやする。 ・怖いけど、いけないことをしているのを知っていて止めないと心がすっきりしない。 ・さくおくんは怖いけど、自分が正しいと思ったことをした方が、心がすっきりする。 ・自分がしていなくても、友達が悪いことをしたのを知っていて何もしなかったら、悪いことをしたのと同じだから止める。 ・いけないことをしたことを知っているから、止めないと自分の心がもやもやする。 ・さくおくんが困るし、知っている自分もすっきりしない。 ・何もしないと、さくおくんも自分もすっきりしない。		●
学級としてのゴール (課題の解決) ○ 自分が「正しいと思うことをすること」は、なぜ大切なのでしょう。 [分]	・正しいことができないともやもやするから。 ・正しくないことは、止めないと、困る人がいるから。 ・正しいことをすると気持ちいいから。 ・正しいことをすると気持ちがすっきりするから。 ・正しいことをすると自分の自信になるから。		●
子供が自分の言葉で価値を再定義する (新たな自己の生き方への思い)	・正しいことをしたらすっきりする。 ・正しいことをすると笑顔で過ごせる。	●	
終末 (新たな学びをじっくりと受けとめる) ※振り返り	・友達がいけないことをしていたら止めたい。 ・笑顔で過ごせるように、自分が正しいと思うことをしていきたい。	○	

<発問の立ち位置・4区分> (東京学芸大学 永田繁雄教授)

[共]:「共感的」な発問, [分]:「分析的」な発問, [投]:「投影的」な発問, [批]:「批判的」な発問